

令和 7(2025)年度 飛び入学選抜 学生募集要項

今後入学者選抜の日程や内容等に変更が生じる場合は、本学ホームページで周知いたしますので、出願後であっても随時確認するようにしてください。

本学ホームページ <https://www.nittai.ac.jp/index.html>

建学の精神（基本理念）の解釈・ミッション（社会的使命）・ビジョン（目標）

●建学の精神（基本理念：創立の想い、設置目的）

『^{たい} ^{いく} ^ふ ^{きょう} ^の ^{もとい} 體育富強之基』

真に豊かで持続可能な社会の実現には、心身ともに健康で、体育スポーツの普及・発展を積極的に推進する人材の育成が不可欠である。

本学は、その母体を明治24（1891）年に設立された体育会（翌年、日本体育会に改称）とし、この時、創設者日高藤吉郎が掲げた、「體育富強之基」（「体育は富国強兵の基本である」）を建学の精神としている。

昭和24（1949）年、日本体育大学体育学部設置に際し、国際平和の実現に寄与する国づくりを念頭に、その精神は、「体育は肉体をより強靱に富ます基礎である」と解されるようになった。

さらにその後、本学が創設以来、一貫して、スポーツを通じ、全ての人々の願いである“心身の健康”を育み、あわせて世界レベルの優秀な競技者・指導者の育成を追求し続けてきたことに鑑み、今日、この建学の精神（基本理念）は、上掲の通り、解釈が加えられている。

●ミッション（社会的使命：果たすべき役割、存在意義）

本学は、「建学の精神」の具現化、即ち、「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」のため、次の使命を果たす。

1. 体育スポーツ学、教育学、保健医療学分野における先駆的・実践的研究を通じて、人間の「活力ある身体」について、その真理を探究する。
2. 国際社会・地域社会において、先導的役割を担う有為な人材を輩出し、人類共通の願いである、幸福で豊かな社会の構築に資する。
3. スポーツ文化の深化・発展に努め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの精神の実践・普及を推進し、スポーツのもつ様々な「力」を活用して、国際平和の実現に寄与する。
4. 高度な国際競技力を有し、他者の「生き方」モデルとなる優れたアスリートを育成するとともに、人間の心身の可能性（生命の輝きや身体の躍動など）を追究し、活力に満ちた社会の創生に貢献する。

●ビジョン（目標：目指すべき姿、将来像）

本学は、その社会的使命を果たすとともに、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、かかる分野のリーディング・ユニバーシティを目指し、「教育」「研究」「社会貢献」について、次の目標を定める。

【教育】

人間の「活力ある身体」を熟知し、その多様性を受け容れ、地球市民として各分野で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

そのため、教養及び専門的知識・技能の修得、涵養はもとより、コミュニケーション力（言語・表現力）、課題発見・解決力、創造的思考力などを身につけ、複眼的な視点をもって協働・共生のできる人材を養成する。

【研究】

真摯な基礎研究と課題解決に向けた実践的研究を高い水準で展開し、各専門分野の連携を図りながら、学際的研究に取り組むとともに、その成果を広く社会に発信する。

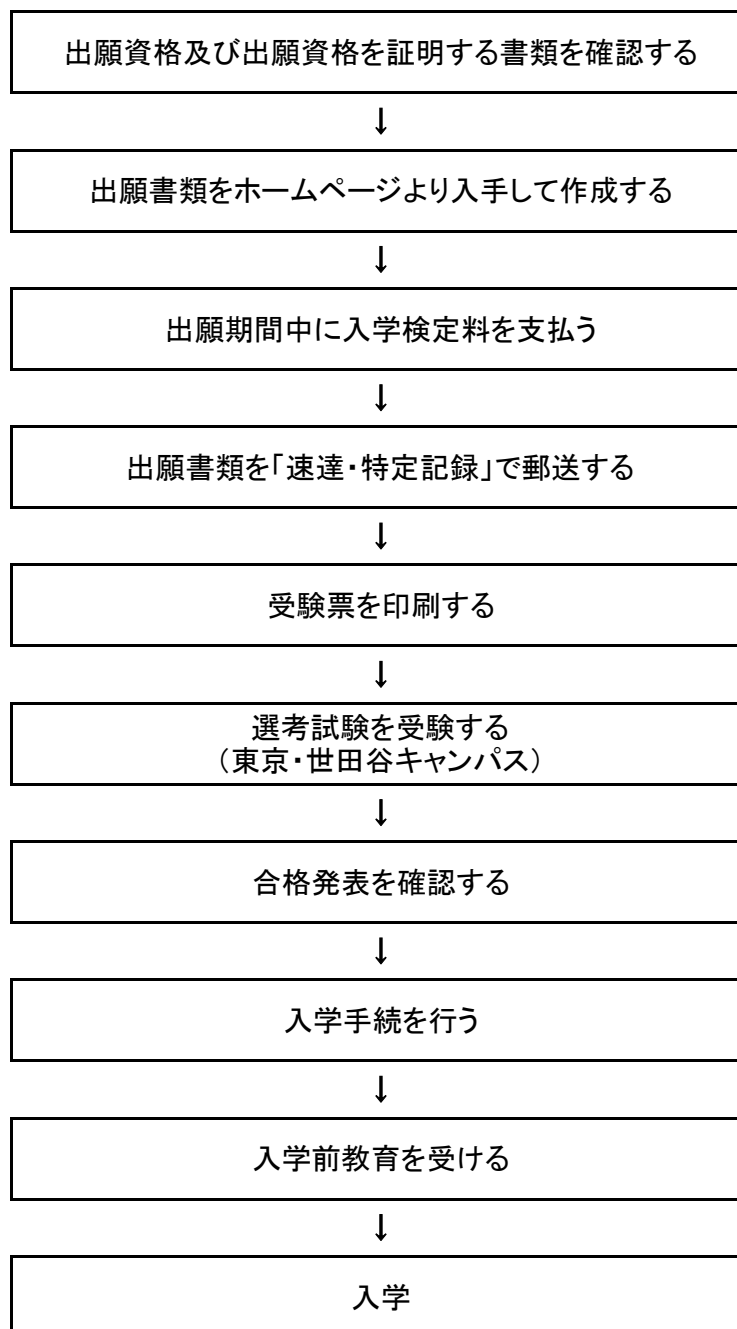
とりわけ、体育・身体活動・スポーツの実践から生じる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野から総合的に分析・検討を加え、得られた新たな知見や解決法を実践現場に還元する双方向的研究活動を推進する。

【社会貢献】

あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元する。

これにより生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献するとともに、大学と社会との「知と技」の好循環を創出することにより、地域社会の力を引き出す大学として、その拠点を形成する。

出願から入学までの流れ



志願者の提出書類について

出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項を行うために利用します。これらの業務の一部を本学より業務の委託を受けた業者に個人情報を提供する場合があります。

また、個人が特定されないように統計処理した情報を、今後の入学選抜及び広報活動のための調査に利用します。予めご了承ください。

体育学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

体育学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育学・スポーツ科学・健康科学に関する専門教育並びに教養科目に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能
 - (1) 幅広い教養と専門分野（体育学・スポーツ科学・健康科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
 - (2) 体育とスポーツ文化への理解をもち、体育・スポーツの発展に貢献できる人物になるための科学的知識・思考並びに実践力を身に付けている。
2. 汎用的能力
 - (1) 専門的知識を使って体育・スポーツ・健康に関する課題の発見・解決の方法を見出すことができる。（課題発見・解決能力）
 - (2) 現象を筋道を立てて思考し、課題解決のために科学的思考と規範的判断力を運用できる。（論理的思考力・規範的判断力）
 - (3) ICTをはじめとする多様な手段を使って情報を収集・分析し、日本語と外国語を使った高度なコミュニケーションができる。（リテラシー）
 - (4) 競技力向上から教育・健康・福祉まで、人々の多種多様な体育・スポーツ・健康への取り組みを専門的知見に基づいてサポートすることができる。（未来社会を構想・設計する力）
3. 態度
 - (1) 世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の課題解決に向かって主体的に参画し、多様な活動を立案・運営できる。
 - (2) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。
 - (3) 現実の社会生活において規範やルールを尊重し、高い倫理観を備えようとしている。
 - (4) 教養並びに専門的知識を活用しつつ自己への洞察を深め、生涯学び続けながら自己を大切に生きようとしている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成
 - (1) 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
 - (2) 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外（野外）実習科目を設ける。
 - (3) 体育・スポーツの専門家として、また人権意識を持つ地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
 - (4) 多様性を受け容れ、共生・共感的態度を持った体育・スポーツの専門家として幅広い教養を身に付け、生涯学び続ける態度を養うために「スポーツ教養科目」並びに「基礎教養科目」を配置する。
 - (5) 体育学の学門的専門性を養うために、体育学全般の基礎を扱う「研究ゼミナールA」を1年次に、各コースでの専門への導入を扱う「研究ゼミナールB」を2年次に、卒業研究のための基礎的研究活動を行う「研究ゼミナールCⅠ」を3年次前期、「研究ゼミナールCⅡ」を3年次後学期に配置する。卒業研究のための実践的研究活動を行う「研究ゼミナールDⅠ」を4年次前期、卒業研究を含む「研究ゼミナールDⅡ」を4年次後学期に配置する。以上の科目設置によって体育学の専門家としての段階的、体系的な能力向上を図る。
 - (6) 多様な社会や人材へ対応することができるよう「サブプログラム」を設ける。

【体育学科】

スポーツ科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるため、体育学科共通科目を設ける。

- (1) スポーツ科学専攻
競技スポーツを中心としたスポーツ科学における専門的知識と実践的応用力を養うために「アスリートプログラム」「スポーツコーチングプログラム」「競技サポートプログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。

- ① アスリートプログラム
競技力向上に関する専門的知識と実践力を身に付けるため、アスリートに関わる専門的知識と実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
 - ② スポーツコーチングプログラム
スポーツコーチングに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、競技力向上のための実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
 - ③ 競技サポートプログラム
競技サポートに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、必要な専門科目と競技サポート実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
- (2) スポーツ教育専攻
学校現場をはじめとして、体育・スポーツ実践に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するために、「スポーツ教育プログラム」及び「特別支援教育プログラム」を設け、当該分野におけるより高度な知識と技術とが体得できるよう関連科目を配する。
- ① スポーツ教育プログラム
スポーツ指導者や保健体育科教員に必要な基礎的知識と実践力を身に付けるため、体育学・スポーツ科学・健康科学に加え、教育学、体育科・保健科教育法、スポーツ実践指導法に関する科目を設ける。
 - ② 特別支援教育プログラム
保健体育科教員に加え、特別支援学校教員としての専門知識と実践力を身に付けるため、特別支援教育に関わる総論と共に、免許領域(知的障害、肢体不自由、病弱)に関する科目を設ける。

【健康学科】

健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、健康学科共通科目を設ける。

- (1) ウェルネスライフ専攻
地域の幅広い年齢層を対象にした健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、ウェルネスライフ専攻共通科目を設ける。
- ① 地域健康サポートプログラム
明るい健康長寿社会の実現に向けて、地域住民の健康で安心な生活を支えるために必要な専門的知識と実践力を身に付ける。地域に根差した健康と福祉の増進に関する「地域健康サポートプログラム科目」を設ける。
 - ② 健康ウェルネスプログラム
健康長寿時代における自他の身体作りをサポートするための専門的知識と実践力を身に付けるために、医科学及び指導法に関する「健康ウェルネスプログラム科目」を設ける。
- (2) ヘルスプロモーション専攻
学校現場をはじめとして人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するためのカリキュラムとして「身体教育プログラム」「養護教諭プログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。
- ① 身体教育プログラム
子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けるため、身体活動と保健教育に関する「身体教育プログラム科目」を設ける。
 - ② 養護教諭プログラム
子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた養護教諭に必要な専門的知識と実践力を身に付けるための「養護教諭プログラム科目」を設ける。

サブプログラム

以上のほか、多様な社会や人材へ対応することを目的に以下のサブプログラムを配置する。

- アカデミックプログラム
- 保健体育教諭養成プログラム
- アスレティック・トレーナー養成プログラム
- 航空産業プログラム
- モータースポーツ産業プログラム
- 留学生プログラム

2. 教育方法

- (1) 講義、演習、実技、実習をバランス良く組み合わせ、学生が主体的に学ぶための教育内容の充実を図る。
- (2) 科目及びプログラムの特性に応じて知識伝授型、グループワーク、集団討論、スポーツ実践の現場を対象とした演習などを展開し、学生の動機づけ、目的意識の向上、スポーツ科学理解の深化を促す。

3. 学修の評価

- (1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準についてはルーブリックを作成する。
- (2) 学生自身が学修をふり返り、自己評価を行う機会を設ける。
- (3) 卒業研究によって提出された論文または制作物等から4年間の学修成果を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. 世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の未来構想及び課題解決に関心のある人
2. 体育とスポーツ文化並びに健康への関心をもち、体育・スポーツの発展に貢献しようとする人
3. 他者と協調・協働し、課題解決や未来に向けて活動することに意欲を有している人
4. 体育学部で学修する上で、中等教育などで身につけるべき基礎学力を有している人
5. 体育・スポーツ・健康の専門的知見を基礎として、それらに関係する領域をはじめ広く社会で活躍したい人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

「学力の三要素」を踏まえた多面的・総合的評価について

選抜区分	選考方法	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
帰国生選抜	書類審査	●	●	●
国際バカロレア資格選抜	小論文試験	●	●	—
外国人留学生選抜	プレゼンテーション	—	●	●
リカレント選抜	実技試験※1	●	—	—
飛び入学選抜				

※1 実技試験はスポーツ文化学部 武道教育学科のみ

「小論文試験」

志望学部・学科での学修に関わる基礎的内容に関して自身の考えを文章表現し、理解力、文章構成・表現力、分析力等を論述する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「プレゼンテーション」

直接の対話や出願時に提出する書類により、学力試験では測ることのできない適性や意欲、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

提出書類については、出願資格の確認及びプレゼンテーション試験等の資料として活用し、総合的に評価する。また、入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する等を多面的に評価する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

「実技試験」

指定する種目を通じて、人間の心身の可能性（運動能力の向上等）における探究力、大学教育を受けるに相応しい能力・適性を多面的に評価する。

【①知識・技能】を評価する。

飛び入学選抜要項

1. 募集人員

体育学部全体で若干名

2. 出願要件

次の(1)～(3)の要件を満たしている者とする。

- (1) 本学入学時に高等学校の在学期間が2年になる者。(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む)
- (2) 本学が展開する教育研究分野(体育及びスポーツ科学)において特に優れた資質(オリンピック及びこれに準ずる国際大会における上位入賞の経験等)を有すると認められる者。
- (3) 上記(2)について、これを証明する高等学校長あるいは指導者(外部指導員を含む)が推薦する者。

3. 選抜日程・選考方法等

出願期間	令和6年11月1日(金)～令和6年11月11日(月) ※期間内消印有効
試験日	令和6年12月1日(日)
試験場入室時間	9:00～9:40
選考方法	小論文試験 (60分) 10:00～11:00 プレゼンテーション* (15分程度) 小論文試験終了後、順次実施 *3～5分以内でプレゼンテーション(これまでの経歴や入学後の学修目標、卒業後の進路等)を行い、その後、質疑応答を行います。なお、プレゼンテーションは口頭のみとします。
試験場	日本体育大学 東京・世田谷キャンパス 交通アクセスは以下のURLをご参照ください。 https://www.nittai.ac.jp/access.html#anchor01
合格発表日	令和6年12月5日(木)
入学手続締切日	令和6年12月20日(金)

4. 出願手続

(1) 提出方法

所定の「宛名シート」を貼付した角2封筒に、出願書類一式を封入し、「速達・特定記録」扱いで郵送してください。(「特定記録郵便物等受領証」は大切に保管してください。)

なお、窓口出願は行っていません。

(2) 入学検定料

35,000円

出願期間中に下記口座へ検定料を振込んでください。

＜入学検定料振込先＞

みずほ銀行 世田谷支店 普通預金 943559

ニッポンタイクダイガクケンテイリョウグチ
日本体育大学検定料口

振込みの際、ご依頼人名は必ず志願者氏名で振込んでください。

- ・振り込み後は、依頼人の控え（インターネットバンキングの場合は振込日時、宛先、金額など、振り込みの概要が分かる画面もしくはプリントアウト）を大切に保管してください。

(3) 出願書類

①受験票・写真票・志願票（所定用紙）

受験票・写真票・志願票に同じ写真3枚を貼付してください。

（出願締切日から3ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽で縦4cm×横3cm）

②志願者情報登録カード（所定用紙）

必要事項を全て記入し、該当する部分は○をつけてください。

③調査書または高等学校卒業程度認定試験合格証明書

- ・出身高等学校長が作成し、厳封したもので、出願締切日から3ヶ月以内に発行されたもの。
- ・原則として2年次前学期・1学期までの成績が記載されているものを提出してください。
- ・高等学校卒業程度認定試験に合格した者は、「特別合格証明書（文部科学省発行）」を提出してください。

※廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

④推薦書（所定用紙）

出身高等学校長または出願要件(3)にあるスポーツ競技の成績を証明する指導者等が作成し、厳封したもので、出願締切日から3ヶ月以内に発行されたもの。

⑤入学者選抜 受験上の配慮申請書（所定用紙A）・外国籍保有者願書（所定用紙B）※該当者のみ

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合は、p.8「(2) 障がい等のある入学者の事前相談について」を、外国籍を有する者はp.9「(3) 外国籍を有する者の出願書類について」をご確認ください。

5. 出願に関する注意事項

(1) 出願上の注意

- ①不備のある出願書類や出願締切後に発送された出願書類は一切受け付けません。
- ②一度提出された出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。
【入学検定料の返還請求（振込手数料を除く）が可能となる場合】
 - ・入学検定料を支払ったが本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。
 - ・入学検定料を誤って二重に支払った。
- ③出願受付後、他選抜区分及び他学科・コースへの変更はできません。
- ④出願書類に虚偽の記載がなされていた場合、入学前に重大な不祥事を起こした場合は、合格の場合でも合格取消となりますので、公正な手続等によって出願・受験してください。
- ⑤志願者数確定後、志願者数速報を本学ホームページ（<https://www.nittai.ac.jp/>）でお知らせします。

(2) 障がい等のある入学志願者の事前相談について

（参照：<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor07>）

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合は本学ホームページより「けが及び障がいのある入学志願者の事前相談について」を確認し、「入学者選抜 受験上の配慮申請書（所定用紙

A)」を提出してください。

(3) 外国籍を有する者の出願書類について

(参照 : <https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor08>)

外国籍を有する者は、本学ホームページより「外国籍保有者願書 (所定用紙B)」を確認し、提出してください。

なお、本学では、保証人は出願時には必要としませんが、入学手続き時に保証人を定めて届け出ることとしています。外国人留学生の保証人は、日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し、独立の生計を営む者としてします。

なお、日本国籍を有する二重国籍者は提出不要です。

(4) 本学からの連絡について

本学からの連絡については、出願時に登録した電話番号またはE-mail アドレス宛に行います。ドメイン指定受信をしている場合は、本学からのメール (@nittai.ac.jp / @ml.nittai.ac.jp) が受信できるようにあらかじめ設定しておいてください。

6. 受験に関する注意事項

(1) 持参するものについて

① 受験票

受験票を紛失または忘れた場合は、本学試験担当者に申し出てください。

② 筆記用具

黒鉛筆(HB)またはシャープペンシル(HB)、プラスチック製消しゴム

③ 時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)

試験場内に時間を確認できる時計がない場合がありますので、腕時計等を持参してください。

④ 服装・昼食(任意)

試験場換気による窓の開放等を行う時間帯があるため、必要に応じて上着等暖かい服装を持参してください。

また、試験会場では学生食堂等の営業は行わないため、必要に応じて昼食を持参してください。

なお、飲食は自席に限ります。

※会場内備え付けの自動販売機は利用可能ですが、数に限りがありますので、飲み物はできる限り各自でご用意ください。

(2) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

(3) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、試験場から退構するまで、かばん等にしまってください。これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

(4) キャンパス入構時に受験票を提示してください。入構後は、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

- (5) 可能な限り、試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

なお、以下の日程は入学者選抜準備及び実施のため、本学キャンパス内に入構できません。

【東京・世田谷キャンパス】

令和6年10月11日(金)～ 令和6年10月13日(日)

令和6年10月19日(土)～ 令和6年10月20日(日)

令和6年11月29日(金)～ 令和6年12月1日(日)

令和6年12月13日(金)～ 令和6年12月14日(土)

令和7年1月17日(金)～ 令和7年1月19日(日)

令和7年1月31日(金)～ 令和7年2月2日(日)

- (6) 試験当日の緊急情報は右記 URL より確認できます。 <https://blog.nittai.ac.jp/nyushi/>

- (7) 車での来場はできません。公共交通機関をご利用ください。

- (8) 遅刻した場合について

試験開始後 20 分までに試験場(キャンパス内)に到着した場合に限り、受験を認めます。

- (9) 公共交通機関の遅延等により、試験場入室時間終了までに間に合わない場合は、直ちにアドミッションセンターへ連絡してください。また、当該公共交通機関において遅延証明書を必ず受領してください。

- (10) 受験者以外の方は会場内に入れません。(付添人控室はありません。)

- (11) 事故・怪我については応急処置をしますが、それ以上の責任は負いかねます。安全に十分注意して試験に臨んでください。

- (12) 小論文試験時について

①「受験票」は、試験担当者が見やすいように机上に置いてください。

②「受験票」の他に試験時間中、机上に置けるものは以下のとおりです。

・黒鉛筆(HB)、シャープペンシル(HB)

・鉛筆キャップ

・プラスチック製消しゴム

・鉛筆削り(電動式・ナイフ類を除く)

・時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)

・眼鏡

・ハンカチ

・ティッシュペーパー(袋または箱から取り出した紙のみであること)

・目薬

③「耳せん」は、放送や試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので、キャンパス内では使用できません。

④座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋(多汗症用を含む)の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

⑤試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。

⑥不正行為について

以下のことを行くと不正行為になる場合があります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退出

を指示され、それ以降の受験はできません。また、受験した全ての成績が無効になります。

- ・カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の受験者から答えを教わること等)を行うこと。
- ・他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けを行うこと。
- ・問題や解答用紙を試験場から持ち出すこと。また、問題を書き写すこと。
- ・試験監督者の指示に従わず、問題を見る、解答を始める、または解答をやめないこと。
- ・試験時間中に使用を認めていないものを机の上に置くこと及びそれらを使用すること。
- ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと。
- ・その他試験監督者の指示に従わないこと。

(13) 要項の選考方法に記載されている「プレゼンテーション」の時間は目安です。

7. 合否照会システムについて

本学の合格発表は、「合否照会システム(インターネット)」による合否案内を行います。不合格通知書は送付いたしません。また、アドミッションセンターに直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けできませんので、下記照会方法をご確認ください。

(1) 利用方法・注意点

- ① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- ② 「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。
- ④ 合否照会の利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間	
令和6年12月5日(木)～令和6年12月20日(土)	初日 10:00 より最終日 23:59 まで 確認可能

(2) 照会方法

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

また、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)からも、上記アドレスへアクセスできますのでご利用ください。

8. 入学手続

(1) 入学手続書類等の郵送について

合格者への入学手続書類の郵送は行いません。入学手続については、合否照会システムの案内に従い、「入学手続要領」を確認してください。

(2) 入学手続締切日

令和6年12月20日（金）

- ①入学手続時納入金（学費等）は、Web 入学手続サイトより所定の「振込用紙」を印刷し、入学手続締切日までに金融機関窓口でお振込ください。
- ②入学手続書類は、必要書類を用意し、手続締切日（消印有効）までに郵送してください。（インターネット上での手続締切日も同日）
- ③入学手続締切日までに入学手続時納入金（学費等）が未納だった場合は、入学辞退となりますので注意してください。
- ④振込金受取書（本人保存）は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。
- ⑤入学手続締切日以降に入学手続者へ入学手続完了の旨を、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

(3) 入学辞退について

提出期限：【窓口】令和7年3月31日（月）17：00まで

【郵送】令和7年3月31日（月）消印有効（速達・特定記録としてください。）

入学手続時納入金（学費等）を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金（¥300,000）を除く納入金を返還いたします。手続方法については、入学手続時書類に記載いたします。

(4) 入学手続における個人情報の取扱いについて

入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。なお、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、提出していただいた個人情報を、委託業者に対して提供することがあります。予めご了承ください。

9. 入学前教育の実施について

本学入学までの時間を有意義に過ごしてもらうために「入学前教育」を実施する予定です。詳細は合格発表日以降に連絡します。入学予定の学科によっては、その実施にあたって自己負担となる場合がありますので、予めご承知おきください。

10. 高等学校卒業程度認定審査について

飛び入学者は、高等学校等を中途退学して大学へ入学することとなりますが、大学への飛び入学者について、入学した大学での一定の単位の修得状況をもとに、高等学校において3年の課程を修了した者と「同等以上の学力」を有することを文部科学大臣が認定する制度（高等学校卒業程度認定審査）が創設され、令和4年度より開始されました。詳細は文部科学省ホームページを確認してください。

文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/index_00002.htm

学 費 案 内

(円)

費 目			体 育 学 部 ス ポ ー ツ 文 化 学 部 スポーツマネジメント学部 児童スポーツ教育学部		保 健 医 療 学 部			
					整 復 医 療 学 科		救 急 医 療 学 科	
					前 学 期	後 学 期	前 学 期	後 学 期
① 学 費	入 学 金	入学時のみ	300,000	—	300,000	—	300,000	—
	授 業 料		400,000	400,000	450,000	450,000	450,000	450,000
	施 設 整 備 費		125,000	125,000	150,000	150,000	150,000	150,000
	教 育 充 実 費		100,000	100,000	125,000	125,000	125,000	125,000
	健 康 管 理 費		10,000	—	10,000	—	10,000	—
	実 習 費		—	—	100,000	—	250,000	—
② その他の費用	学 友 会 費		13,000	—	13,000	—	13,000	—
	保 護 者 会 費		15,000	—	15,000	—	15,000	—
	同窓会準会員費	入学時のみ	10,000	—	10,000	—	10,000	—
分 納 の 場 合	③ 前学期納付金		973,000	—	1,173,000	—	1,323,000	—
	後学期納付金		—	625,000	—	725,000		725,000
一 括 納 入 の 場 合 (①+②)			1,598,000		1,898,000		2,048,000	

- ・ 授業料・施設整備費・教育充実費は、全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合の入学手続時の納入金額は、③の金額となります。(分納された方の後学期分納分の振込用紙は、1年次10月初旬に郵送します。)
- ・ 入学金・同窓会準会員費以外の費目(金額)については、2年次以降も納入していただきます。
- ・ 学外集中実技を履修した際は、その都度費用をお支払いいただくことになります。
- ・ スポーツ文化学部では、選択必修の海外での実習を行いますので、その実費をお支払いいただきます。
参考：スポーツ文化学部令和6年度実習費300,000円(入学後別途案内)
- ・ 日本体育大学奨学生は、上記のうち、学費の一部が免除されます。詳細については、p.15の「日本体育大学奨学生制度」をご覧ください。

寄 付 金 に つ い て

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。
ただし、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

● 「国の教育ローン」(教育貸し付け)について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。詳しくは、教育ローンコールセンター 0570-008656 (03-5321-8656)、または「国の教育ローン」で検索、<https://www.jfc.go.jp/> から「国の教育ローン」を選択してください。

● 「提携学費ローン」について

日本体育大学が提携する企業を通し、一般より有利な条件で学費を融資してもらう制度です。提携企業による申請資格や審査、融資年利率が設定されるものです。(本学HP：学生生活>学費・奨学金>学費 奨学金・教育ローン参照)

日本体育大学学費ローン		
名 称	株式会社オリエントコーポレーション	
提 携 先	株式会社オリエントコーポレーション	楽天銀行株式会社
問合せ先	株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク	楽天銀行 カードセンター 教育ローン専用ダイヤル
営業時間	平日 9:30～17:30 (土日を除く)	平日 9:00～19:30 (土日祝日 10:00～17:30)
☎	0120-517-325	0120-61-6910

学生生活案内

1. 授業・クラブ活動拠点について

(1) 体育学部

体育学部は、東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパスの両キャンパスを使用して授業を実施します。

■ 体育学科

Web出願時の大学入学後の競技種目名をもとに、クラスを編成します。

(表1) クラブ・サークル活動拠点の1群を選択した場合は世田谷クラス、2群を選択した場合は健志台クラスになります。なお、入部を希望しない場合や未定と回答した男子の場合は世田谷クラスになります。女子の場合は原則健志台クラスになりますが、授業クラスの人数の関係上、場合によっては世田谷クラスになることもありますのでご了承ください。

■ 健康学科

1年次は横浜・健志台キャンパスを中心、学年が進むにつれて、東京・世田谷キャンパスでの授業展開が増していく予定です。(表2参照)

(表1) クラブ・サークル活動拠点

(令和6年4月1日現在)

群 活動拠点	ク ラ ブ 名
1 群 東京・世田谷 キャンパス	総務部……………総務部
	合気道部、アメリカンフットボール部、カヌー部、空手道部、剣道部、山岳部、新体操部、柔道部、少林寺拳法部、スキー部、相撲部、ソフトボール部、体操部、卓球部、ダンス部、トライアスロン部、トランポリン競技部、軟式野球部、バスケットボール部、バレーボール部(6人制女)、バレーボール部(9人制)、ハンドボール部(女)、フェンシング部、ボート部、ボクシング部、ライフセービング部、ラクロス部、レスリング部(女)、チアリーダー部……………運動部
	応援団部、プラスバンド部……………応援部
	家政部……………厚生文化部
	研究・調査部、運動部2部、公認団体(救急医療サークルは除く) その他入学後入部を決定する者・未加入の者(男)
2 群 横浜・健志台 キャンパス	アーチェリー部、ウエイトリフティング部、硬式野球部、ゴルフ部、サッカー部、自転車競技部、水泳部、スケート部、ソフトテニス部、体操競技部、テニス部、バドミントン部、バレーボール部(6人制男)、ハンドボール部(男)、ラグビー部、陸上競技部、レスリング部(男)……………運動部
	研修部……………厚生文化部
	救急医療サークル……………公認団体
	入学後入部を決定する者・未加入の者(女) ※授業クラスの人数の関係上、世田谷クラスになることもある

(表2) 参考：令和6年度授業実施キャンパス ※令和7年度は未定です。

学 科	学 年	授業実施(日/週)	
		東京・世田谷キャンパス	横浜・健志台キャンパス
体育学科(世田谷クラス)	1・2・3年	2日	3日
	4年	3日	2日
体育学科(健志台クラス)	1年	0日	5日
	2・3年	1日	4日
	4年	0日	5日
健 康 学 科	1年	2日	3日
	2・3年	3日	2日
	4年	5日	0日

(2) スポーツ文化学部

スポーツ文化学部は、東京・世田谷キャンパスで授業を実施します。

(3) スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学部は、横浜・健志台キャンパスで授業を実施します。

(4) 児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育学部は、東京・世田谷キャンパスで授業を実施します。

(5) 保健医療学部

保健医療学部は、横浜・健志台キャンパスで授業を実施します。

2. 日本体育大学奨学生制度

本学では、学業成績または競技成績が優秀で心身ともに健全な学生に対し、奨学生制度を設け、学費について下表のとおり減免を行っています。

なお、この制度は本学奨学生選考委員会の選考を経て、年度ごとに採用されるものです。そのため、前年度に奨学生であっても、学業成績や競技成績等により奨学生選考委員会で選考した結果、翌年度は奨学生ではなくなる場合があります。予めご了承ください。

No.	名 称	対 象	免 除 す る 費 目	申 請 時 期 等
1	特別奨学生A	競技成績優秀者 (体育学部)	〔1年次〕 …… 「入学金」、「授業料」、「施設整備費」、「教育充実費」の全額 〔2、3、4年次〕 … 「授業料」、「施設整備費」、「教育充実費」の全額	申請不要(学費納付時に 該当者に通知)
2	特別奨学生B	(スポーツ文化学部) (スポーツマネジメント学部) (児童スポーツ教育学部) ※児童スポーツ教育学科・児童 スポーツ教育コースのみ対象	〔1年次〕 …… 「入学金」、「施設整備費」の全額 〔2、3、4年次〕 … 「施設整備費」、「教育充実費」の全額	
3	一般奨学生	学業成績優秀者 (全学部)	〔1年次〕 …… 「入学金」、「施設整備費」の全額 〔2、3、4年次〕 … 「施設整備費」、「教育充実費」の全額	申請不要(1年次は前学 期中、2年次以降は学費 納付時に該当者に通知)

No.	名 称	対 象	給 付	申 請 時 期 等
1	メイドー・MCS・長谷川奨学金 (2、3、4年次)	課外活動等の大学生活において目標に向けて強い 志を持って取り組んでいる者	25万円	前年度後学期に申請 (1、2、3年次に申請)
2	雄渾奨学金	奨学金の貸与を受けている者でかつ経済的に困窮 し修学困難な者	20万円	毎年次9月～10月頃

3. 学費減免制度

本学では、学費納付者の負担軽減を図るために学費減免制度を設けています。詳細は以下のとおりとなります。

対 象	免除する項目	申請時期等	備 考
同一の扶養者により扶養されている兄・姉が本学に在学する 入学生(双子入学の場合はどちらか1名)	「入学金」	入学した年度 の6月末まで	
日本学生支援機構等、奨学金の貸与を受けても、なお学費納 入が困難で学業成績が平均水準以上の者(2、3、4年次)	後学期「施設整備費」・「教 育充実費」(単年度採用)	毎年次7月	採用枠あり
1年以内に家計急変があり日本学生支援機構奨学金を併用し てもなお学費納入が困難な者	当該学期「施設整備費」・「教 育充実費」(単年度採用)	随時応相談	

4. 国による高等教育の修学支援新制度

(文部科学省 HP: <https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>)

2020年4月からスタートした高等教育の修学支援新制度は、一定の学業基準、家計基準を満たせば、授業料等の減免や日本学生支援機構の給付奨学金が受けられる制度です。この制度による支援を受けるには、まず日本学生支援機構給付奨学金に申請が必要です。採用された日本学生支援機構の給付奨学金の支援区分により、授業料等の減免額も決定されます。

なお、大学での取り扱いにつきましては、所定の金額を納入していただき、入学後に減免額を還付します。還付時期等につきましては、日本学生支援機構給付奨学金の採用者説明会(5～6月予定)にてお知らせします。

■ 支援内容	1. 授業料・入学金の免除または減額 2. 給付型奨学金の支給(日本学生支援機構)
■ 支援対象	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生 ※ 支援を受けられる年収目安と支援額は、日本学生支援機構ホームページにてご確認ください。 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html 
■ 申請方法等	日本学生支援機構奨学金(給付)申込手続きを行ってください。採用者に対しご案内します。

5. 寮 案 内

(1) 主 旨

学生寮は学生の経済的負担を軽減するための厚生施設であるとともに、共同生活を通して相互の親睦を深め、社会人・体育人としての基礎的教養を身につけ、実りある学生生活を送るよう、指導・助言にあたっています。

(2) 施 設

寮 名	建物構造	部屋数	総定員数	所 在 地
深 沢 寮(男子)	鉄筋6階建	69 室	256 名	東京都世田谷区深沢5-12-17
和 泉 寮(女子)	鉄筋3階建	125 室	250 名	東京都世田谷区中町5-10-17
健 志 台 寮(男子)	鉄筋4階建	132 室	492 名	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町字上谷戸946-2
健 志 台 桜 寮(女子)	鉄筋5階建	80 室	132 名	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町550-1

冷暖房完備で洗濯機、乾燥機及びセキュリティボックス等が設置されています。

(3) 申込条件

寮別の申込条件は、以下のとおりです。

寮 名	申 込 条 件
深 沢 寮(男子)	学友会団体に所属が未定の方も入寮の申し込みができます。
和 泉 寮(女子)	学友会団体に所属が決定している方のみ入寮の申し込みができます。
健 志 台 寮(男子)	学友会団体に所属が未定の方も入寮の申し込みができます。
健 志 台 桜 寮(女子)	横浜・健志台キャンパスを拠点として活動する学友会運動部、もしくは公認団体の競技部門に入部希望の方が優先的に申込みます。 なお、保健医療学部の学生は入部を希望しなくても申込みます。ただし入寮手続きが多い場合は希望に添えないことがあります。

(4) 費用 (令和6年度参考例)

寮 名	入寮費	食 費	寮 費 (月額) ※ 光熱水費含む	年 額
深 沢 寮 (男子)	20,000 円	1,530 円 / 日 (3食) ※ 春季・夏季・冬季休業時の提供なし	32,000 円	830,930 円
和 泉 寮 (女子)				
健 志 台 寮 (男子)	20,000 円	1,530 円 / 日 (3食)	33,000 円	927,810 円
健 志 台 桜 寮 (女子)	20,000 円	1,018 円 / 日 (2食) ※ 昼食・日曜の提供なし	1 人部屋 52,000 円 2 人部屋 36,000 円	949,400 円 757,400 円

入寮費は、初回時のみ徴収します。また、更新時に 10,000 円徴収します。

(5) 申込書類 (学生寮案内及び入寮手続書類)

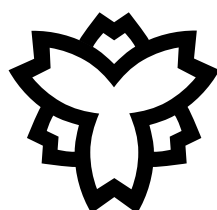
合格者を対象にご案内する「合格者専用サイト」に掲載致します。

(6) 問い合わせ先

深沢寮・和泉寮 TEL 03-5706-0904

健志台寮・健志台桜寮 TEL 045-963-7905

事務取扱時間：月曜～金曜 8:30～17:00



◆ 入学者選抜に関するお問い合わせ先 ◆

日 本 体 育 大 学 アドミッションセンター

東京・世田谷キャンパス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL 03-5706-0910(直通) FAX 03-5706-0819(専用)

事務取扱時間：月曜～金曜 8:30～17:00

夏季一斉休業期間：2024年8月10日(土)～2024年8月18日(日)

冬季一斉休業期間：2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)

本学ホームページ <https://www.nittai.ac.jp/>

入学者選抜に関する緊急情報

<https://blog.nittai.ac.jp/nyushi/>



※ 試験当日の緊急情報（交通機関の乱れによる試験開始時刻繰り下げ対応等）も
上記アドレスで確認できます。